

第4回酒田駅周辺整備調整会議概要録

- 1 日 時 平成29年7月3日（月）午後2時～午後4時30分
- 2 場 所 酒田市役所 4階 庁議室
- 3 出席者 委 員：倉田委員、高谷委員、平澤委員、大野委員、阿部委員、
田中委員、菅原委員（欠席なし）
委員以外：株式会社RIA、株式会社図書館総合研究所
- 4 内 容 ライブラリーセンターの配置計画について、以下のとおり協議しました。

（1）パブリック空間について

- ・ 1階にL型のパブリック空間を確保することや2階に上がる階段とライブラリーの吹抜けの階段との連動もあり、とても分かりやすくなった。
- ・ L型のパブリック空間は、酒田の町屋の通り土間の特徴に合致しており、酒田の縁側という表現もできるのでないか。
- ・ L型のパブリック空間とライブラリーの境界については、豊かな空間を目指してバリアフリー対応ができることを条件として、段差があってもいいのでないか。
- ・ L型のパブリック空間を縁側とした場合、ライブラリーは上がり土間の感覚としては段差をつけたいところであるが、段差をなくし、境にベンチを設置するなどしてはどうか。
- ・ L型のパブリック空間とライブラリーの境界部分は低い書架を配置し、段差の有無に関係なく視線を抜けるようにすることで、段差の有無の違いはなくなるのでないか。
- ・ ライブラリーの空間確保のため、L型のパブリック空間の幅が変わることはしない方がよい。特に、狭くなりすぎて動線だけになることは避けた方がよいのでないか。
- ・ 段差については、バリアフリーの検討をした上で、BDSの位置を含め総合的に判断してはどうか。

（2）ライブラリーセンターのセキュリティシステム（以下BDS）の位置について

- ・ 企画コーナーや観光情報センターにも本を置きたいと考えているので、利用方法をイメージしたBDSの位置の検討が重要である。
- ・ 施設全体がパブリックと考えれば出入口にBDSを設置することでよいのでないか。
- ・ BDSは、ライブラリーとパブリック空間の境界に設置した方が、広場などにつながり、

アクティビティがにじみ出るなど都市との関わりという部分ではよいのでないか。

- ・酒田の気候から広場など外で本を読むというのは時期的には少ないかもしれないが、施設の中央に広場ができるので、間のスペースで気持ちよく過ごしたいと利用者は思うのでないか。
- ・施設管理の面からは、出入口にBDSがあった方が管理しやすいので、カフェから外に本を持ち出す場合などを想定して、運用面でルールを考えられるのでないか。
- ・広場で本を読むことについては、他市の図書館の例では貸出処理後の本を読んでいる例があり、使い勝手が悪いということはなく、外でも読める選択肢を準備しておくといよいのでないか。

(3) 書架の配置について

- ・書架を斜めに配置した場合は、建物がグリッド状なので効率が悪くなり、また移動の方向によっては視線の抜けが片方だけになるのでないか。
- ・大きな吹抜けの場合は、周辺の書架を高くしても空間が抜けているのでよいが、吹抜けが分散し小さくなった場合は、書架を全体的に低く抑えた方がよいのでないか。
- ・書架は、一律全て低く抑える必要はなく、高い書架の空間があってもよいのでないか。また、全体が開放的でなく、メリハリをつけてシミュレーションすることで蔵書数も増えるのでないか。
- ・書架は、本の種別によって高さを変えるということもできるのでないか。

(4) 吹抜けの取り方について

- ・大きい吹抜けはL型のパブリック空間にあるので、他の吹抜けはランダムに配置し、またトッライトの位置を別にする事で空間に動きが出るのでないか。
- ・吹抜けは全てではないが、下のアクティビティとあわせることで、できれば書架でなく、人が見えるような空間にしてはどうか。
- ・吹抜けにある階段は利用者にも使いやすいのでいいのでないか。
- ・吹抜けは厚い板を抜いた感じではなく、薄い回廊がまわっているという表現が出来ると若い人が好むような空間ができるのでないか。
- ・ラーニングコモンスの配置については、吹抜けで分節した方が書架で区切って音出さないよりも違和感がなく、いい感じに収まるのでないか。
- ・吹抜けのある他市の図書館では、音が上がってくることもあるが、ルールを守っていれば問題はない。ライブラリーも静かに読みたい人には静寂閲覧室という選択肢があることな

ど、本を読む場所が強制されないというところが大事なことである。

(5) 3階について

- ・眺望は別にして、管理やコストを考えると3階はなくてもよいのでないか。
- ・現在も行われている図書館のセミナーを想定した場合、3階のような講座のできるスペースがあると図書館の活動が活性化されるのでないか。
- ・展望デッキとしての眺望だけでなく、多目的に使えるような機能を設けることで、デッキの価値が生きてくるのでないか。

(6) その他

- ・大きなゾーニングの方向性が固まってきたので、個別の機能や書架の配置等については、より使いやすくなるよう、詳細の検討に入っていきたい。
- ・2階に壁面を作れるレイアウトも必要でないか。
- ・2階のバンケットとライブラリーの配置について、音が大きい場合もあるので、壁や扉等による防音の検討も必要でないか。再開発は区分所有のため、シャッターが必要になるが、お互いに気配を感じられるものにした方がよいのでないか。